

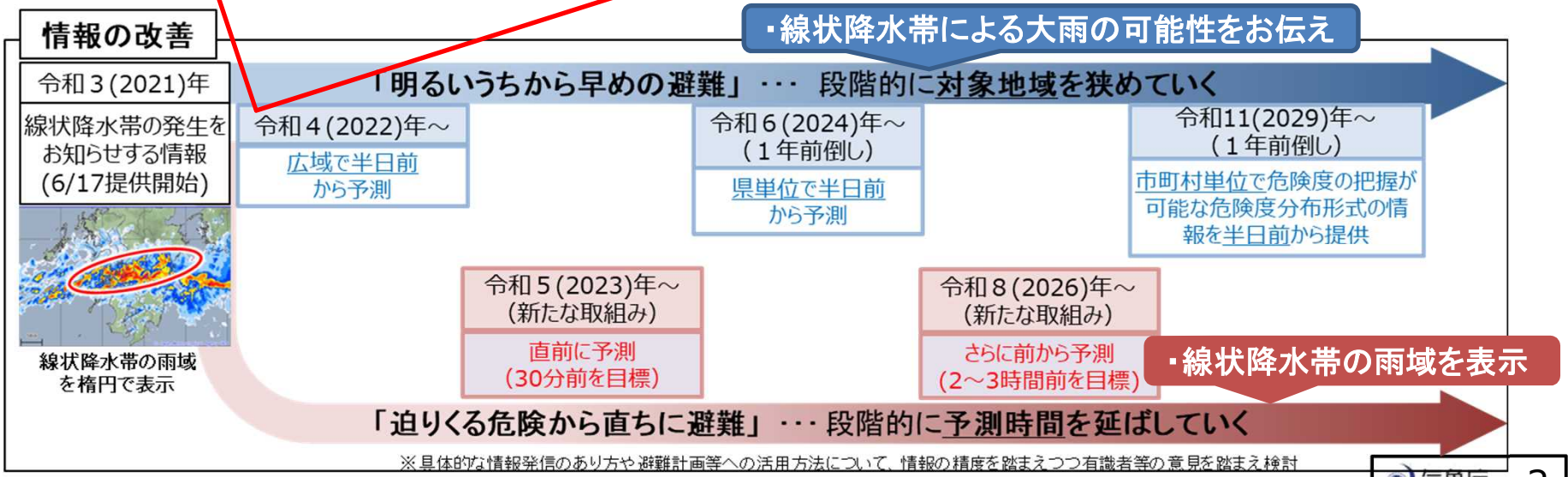
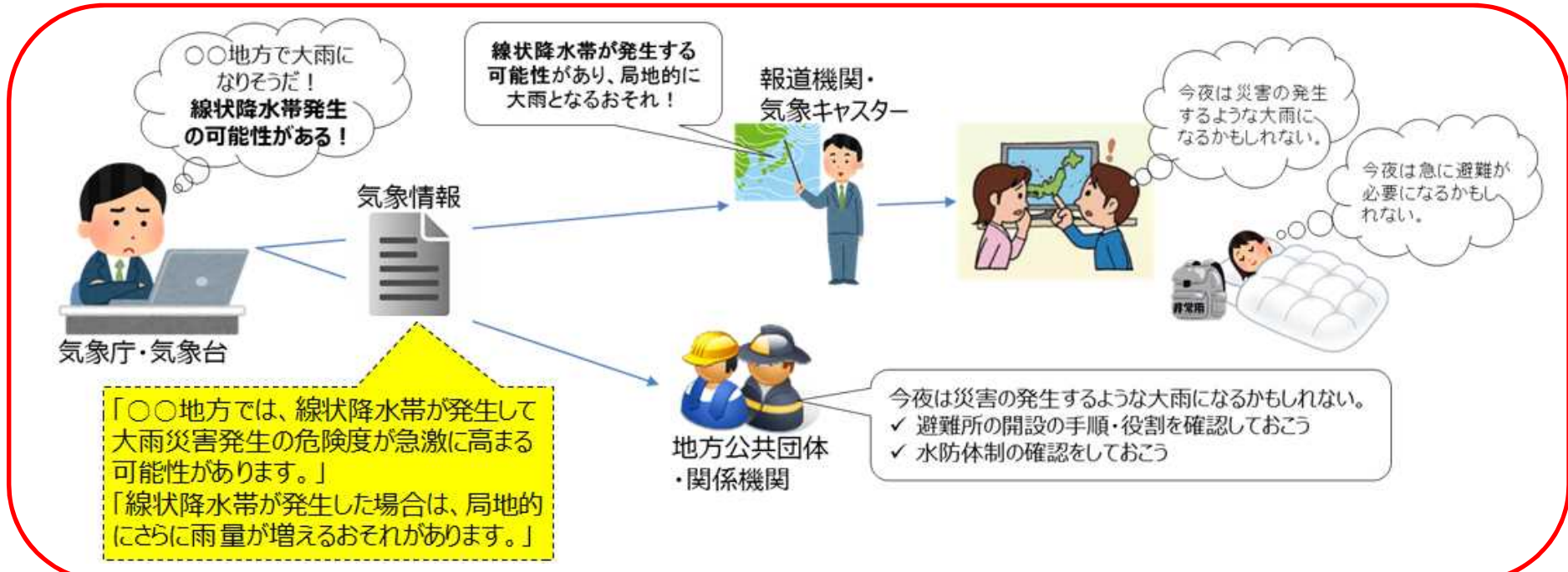
# 線状降水帯による大雨の 半日程度前からの呼びかけ

---

長野地方気象台

# 線状降水帯による大雨の可能性を半日前からお伝えします

令和4年  
6月1日～



※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

# 線状降水帯による大雨の可能性を半日前からお伝えします

➤ 令和4年6月1日から、「顕著な大雨に関する気象情報」の発表基準を満たすような線状降水帯による大雨の可能性が程度高い場合に、「気象情報」において、半日程度前から地方予報区単位で呼びかけ、情報の充実をはかります。（地方予報区：全国を11ブロックに分けた地域）

※ 警戒レベル相当情報を補足する解説情報として発表します。

大雨に関する〇〇地方気象情報 第〇号  
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 〇〇气象台発表

（見出し）

〇〇地方では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。

（本文）

…（中略）…

〔量的予想〕

<雨の予想>

〇日〇時から〇日〇時までには予想される24時間降雨量は、いずれも多い所で、

〇〇県 〇ミリ

〇〇県 〇ミリ

〇〇県 〇ミリ

の見込みです。

線状降水帯が発生した場合は、局地的にさらに雨量が増えるおそれがあります。

…（中略）…

〔補足事項〕

今後発表する防災気象情報に留意してください。

次の「大雨に関する〇〇地方気象情報」は、〇日〇時頃に発表する予定です。

大雨が予想される際に発表される気象情報に、線状降水帯発生の可能性について言及する

※ 原則、「〇〇地方」と記載します。（全般・地方・府県）

※ 全般気象情報は、「大雨に関する全般気象情報」のほか、「台風第〇号に関する情報」というタイトルで発表されることもあります。

※ 05, 11, 17時頃以外は、見出しのみの発表とすることがあります。

大雨に関する〇〇地方気象情報 第〇号  
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 〇〇气象台発表

<見出し>

〇〇地方では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性があります。

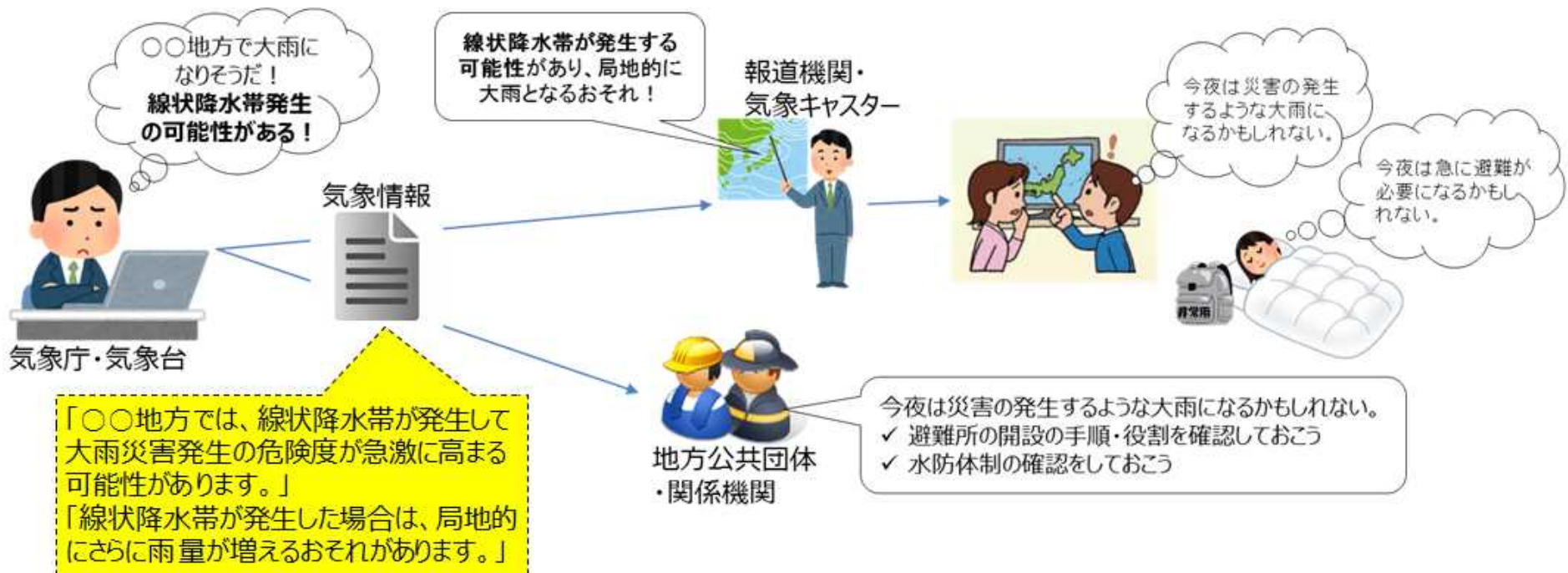
<本文>

なし

予想雨量と併せ、線状降水帯が発生した場合にはさらに状況が悪くなる可能性があることを伝える

# 線状降水帯による大雨の可能性が発表されたとき

- 線状降水帯が発生すると、大雨災害発生の危険度が急激に高まることがあるため、心構えを一段高めていただくことを目的としています。この呼びかけだけで避難を促すわけではなく、ほかの大雨に関する情報と合わせてご活用ください。
- **市町村**の防災担当の皆さまには、避難所開設の手順や水防体制の確認等、災害に備えていただくことが考えられます。
- **住民**の方々には、大雨災害に対する危機感を早めにもっていただき、ハザードマップや避難所・避難経路の確認等を行っていただくことが考えられます。



# 線状降水帯による大雨の可能性を伝えるタイミング

- ◆ 線状降水帯が発生する可能性がある時間帯の概ね半日前から6時間前までは、気象情報において、線状降水帯というキーワードを使って呼びかけます。
- ◆ 線状降水帯が発生する可能性がある時間帯まで概ね6時間未満となった場合は、もはや心構えを一段高める段階ではなく、具体の避難行動が必要です。そのため、線状降水帯の発生の可能性に特化するのではなく、より具体的に大雨の状況を解説し、大雨警報やキキクル等、様々な情報の活用を呼びかけます。
- ◆ 同じ地域で線状降水帯が繰り返し発生するような場合、最初に「顕著な大雨に関する気象情報」が発表された後は、一連の事象が終わるまで、発生の可能性ではなく、線状降水帯というキーワードを用いて発生後の呼びかけを行います。

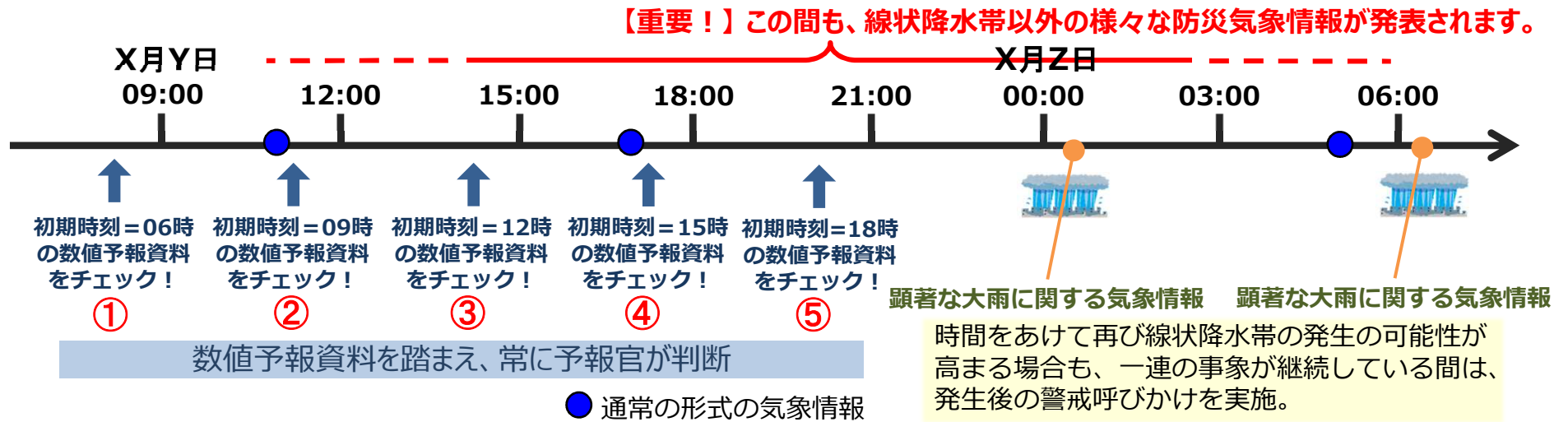
## 気象庁HPの楕円表示が継続している場合の解説例

〇〇地方では、線状降水帯による非常に激しい雨（猛烈な雨）が続いています。引き続き、土砂災害、河川の氾濫に厳重に警戒してください。

## 気象庁HPの楕円表示は継続していないが、降水が再度組織化し非常に激しい雨（や猛烈な雨）の降る可能性がある判断する場合の解説例

〇〇地方を中心に、線状降水帯による非常に激しい雨（猛烈な雨）の降りやすい状況が続いています。これまでの大雨により地盤が緩んでいる所（や洪水の危険度が高まっている河川）があり、引き続き、土砂災害（や河川の氾濫）に厳重な警戒が必要です。

# 線状降水帯による大雨の可能性を伝えるタイミング



## 【参考】上の例における情報発表の時系列

- ① [15時間あまり先（初期時刻が18時間以上先）] 以前
  - ・精度の問題から、基本的には、情報は発表せず監視を継続。
  - ・総観場から見た大雨の見通しと数値予報資料から、予報官が目安を満たすと判断したら、11時の気象情報において、線状降水帯による大雨の可能性について警戒を呼びかけ。
- ② ③ [9～12時間あまり先（初期時刻が12～15時間先）]
  - ・総観場から見た大雨の見通しと数値予報資料から、予報官が目安を満たすと判断したら、17時の気象情報において、線状降水帯による大雨の可能性について警戒を呼びかけ。
  - ・状況によっては、17時よりも前に見出しのみで発表することがある。
- ④ [6時間あまり先（初期時刻が9時間先）]
  - ・実況の推移や数値予報資料から、予報官が目安を満たすと判断すれば、見出しのみで発表。
- ⑤ [6時間あまり先（初期時刻が9時間先）] より後
  - ・実況の推移を踏まえ、警報やキキクル等、様々な情報に基づく大雨等への警戒呼びかけを実施。
  - ・それに伴い、半日程度前からの地方予報区単位の呼びかけは終了する。
  - （・予想より前に「顕著な大雨に関する気象情報」が発表されれば、発生後の呼びかけに切り替える。）

## 線状降水帯による大雨の可能性を伝える地域

- ◆ 地方気象情報による地方予報区単位での呼びかけを基本とします。
  - ◆ 地方気象情報を発表する地域に含まれる都道府県（北海道や沖縄県ではさらに細かい単位。府県予報区。）についても、府県気象情報において同様に警戒を呼びかけます。  
ただし、明らかに線状降水帯による大雨が降らないと判断できる場合があれば、その県には府県気象情報は発表しません。
  - ◆ 全般気象情報も発表します。
- ※ 奄美地方、伊豆諸島、小笠原諸島などが単独で対象となった場合、「奄美地方」、「伊豆諸島」、「小笠原諸島」と地域を限定して発表します。

# 線状降水帯による大雨の可能性呼びかけの精度は？

- 現在の技術では、線状降水帯による大雨の正確な予測は難しく、呼びかけを行っても必ずしも線状降水帯が発生するわけではないが、線状降水帯が発生しなくても大雨となる可能性は高い。
- 線状降水帯による大雨の呼びかけがなくても線状降水帯が発生することがあるため、段階的に発表される防災気象情報を活用することが重要。（線状降水帯による大雨の呼びかけがあったときも、自治体が発令する避難情報や大雨警報やキキクル等の防災気象情報と併せて活用し、自ら避難の判断が重要です。）

線状降水帯発生 の呼びかけ「あり」 線状降水帯の発生※1「あり」 適中率	全国（どこか1つでも地方予報区で適中しているか）	2回に1回程度
	地方予報区単位	4回に1回程度

※1 「顕著な大雨に関する気象情報」の発表基準をすべて満たした事例。

線状降水帯発生 の呼びかけ「あり」 大雨の発生※2「あり」	全国（どこか1つでも地方予報区で適中しているか）	約8割
	地方予報区単位	約6割

※2 「顕著な大雨に関する気象情報」の発表基準の1つ「前3時間積算降水量の最大値が150ミリ以上の大雨」という条件は満たした事例。

線状降水帯発生 の呼びかけ「なし」 線状降水帯の発生※1「あり」 見逃し率	全国	3回に2回程度
	地方予報区単位	3回に2回程度

● 数値予報ガイダンスにおける目安及び予報官による判断を考慮した検証結果。運用開始後も、必要に応じて発表条件の見直しを実施する。

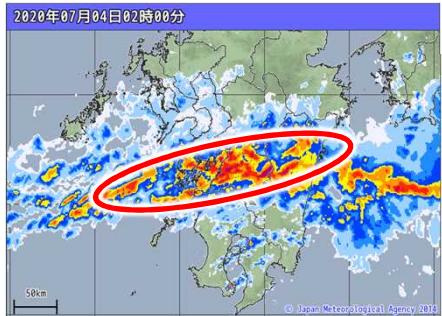


## (参考) 本改善の背景

- 令和3年度より線状降水帯が発生した場合にその旨を伝える「顕著な大雨に関する気象情報」を開始。一方で、市町村の防災担当者に対して実施したアンケートなどによれば、線状降水帯の予測に対する社会的なニーズが高い。
- 線状降水帯の予測は現在の技術を持ってしても、常に確度の高い予測をするのは困難であるが、技術の革新により、線状降水帯を半日前から一定の確度を持って予測することが可能な場合があることがわかってきた。

### 顕著な大雨に関する情報の提供開始（令和3年6月～）

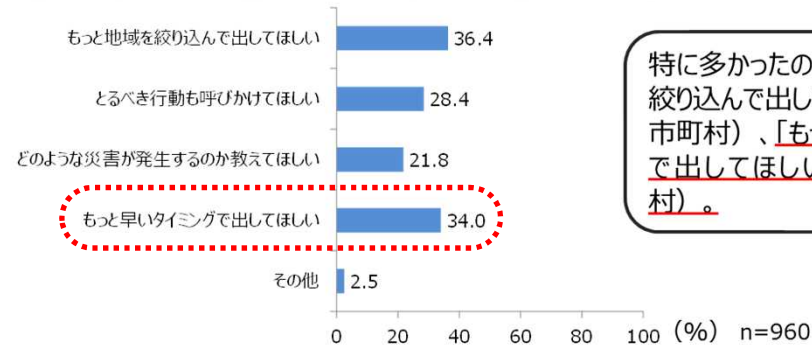
〇〇地方、〇〇地方では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続いています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。



〇 大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域

### 気象庁「自治体アンケート調査」

線状降水帯に関する情報への要望はありますか。（複数選択可）



(参考)

「顕著な大雨に関する情報」が防災対応に役に立たなかった理由として、以下の御意見もいただいている。

- ・ 既に大雨特別警報が発表されていたため、警戒レベルを最大限に引き上げていたため。
- ・ 今まさに大雨が降っており、災害発生の可能性が高まっているタイミングでこの情報を出されても意味がない。

※ 自治体アンケート調査（実施期間：令和3年12月～令和4年1月（1月19日集計分） 調査対象：全国の市町村（計960市町村）、調査方法：Web）

令和4年度より、半日先の線状降水帯の発生の可能性が高く、国民の皆様にご呼び掛けの方が良いと判断できた場合に、「線状降水帯」のキーワードを用いた事前の呼びかけを開始する。

# (参考) 線状降水帯の予測精度向上等に向けた取組の強化・加速化

※令和3年度補正予算の概要から抜粋・整形

線状降水帯の予測精度向上を前倒しで推進し、予測精度向上を踏まえた情報の提供を早期に実現するため、水蒸気観測等の強化、気象庁スーパーコンピュータの強化や「富岳」を活用した予測技術の開発等を早急に進める。

## 観測の強化

- ・陸上観測の強化
- ・気象衛星観測の強化
- ・局地的大雨の監視の強化
- ・洋上観測の強化

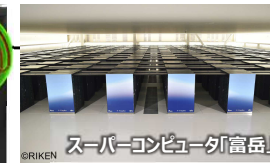


次期ひまわり (令和10年度めぐり打上げ)



## 予測の強化

- ・高度化した局地アンサンブル予報等の数値予報モデルによる予測精度向上等を早期に実現するためのスーパーコンピュータシステムの整備
- ・線状降水帯の機構解明のための、梅雨期の集中観測、関連実験設備（風洞）の強化
- ・「富岳」を活用した予測技術開発



## 情報の改善

順次反映



※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

# 長野地方気象台より情報提供

# 線状降水帯の予測精度向上等に向けた 取組の強化・加速化

線状降水帯の予測精度向上をはじめとする防災気象情報の高度化とともに、緊急時の情報解説など地域防災力向上の推進を図ります。

長野地方気象台

# 線状降水帯の予測精度向上等に向けた取組の強化・加速化

## 観測・予測の強化の取組結果を、情報の改善に順次反映

次期ひまわり  
(令和10年度めどに打上げ)

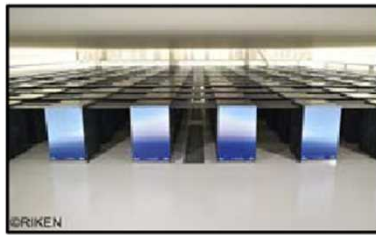


### 予測の強化

- ・高度化した局地アンサンブル予報等の数値予報モデルによる予測精度向上等を早期に実現するためのスーパーコンピュータシステムの整備
- ・線状降水帯の機構解明のための、梅雨期の集中観測、関連実験設備(風洞)の強化
- ・「富岳」を活用した予測技術開発



気象庁スーパーコンピュータシステム



スーパーコンピュータ「富岳」

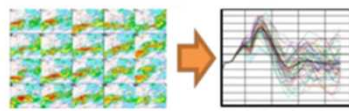
### 予測モデルの高解像度化

より細かく、高度な気象予測を実施可能に

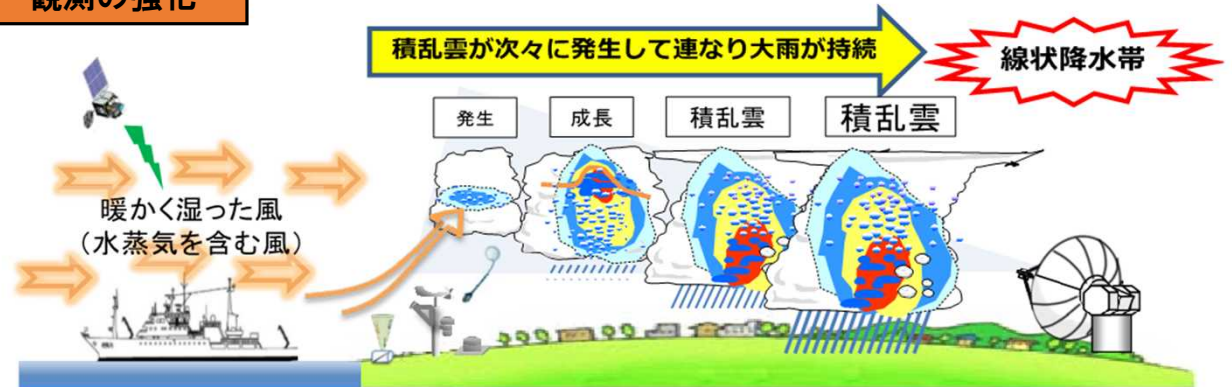


### アンサンブル予報

大量の予測計算を実施し、これらの結果を分析することにより、より確からしい予報を提供



### 観測の強化



海洋気象観測船



マイクロ波放射計



アメダス(温度計追加)



高層気象観測装置



気象レーダー

- ・洋上観測の強化(線状降水帯上流の水蒸気観測能力の強化)
  - 「凌風丸」代船建造、船舶GNSS観測の拡充
- ・陸上観測の強化(陸上の水蒸気観測能力の強化)
  - マイクロ波放射計、アメダス、高層気象観測装置
- ・局地的大雨の監視の強化(正確な雨量、積乱雲の発達過程を把握)
  - 気象レーダー
- ・気象衛星観測の強化
  - 極軌道気象衛星受信装置、最新センサ活用に係る技術開発
- ・次期静止気象衛星の実現すべき機能及び効率的な運用に関する調査(令和4年度予算)

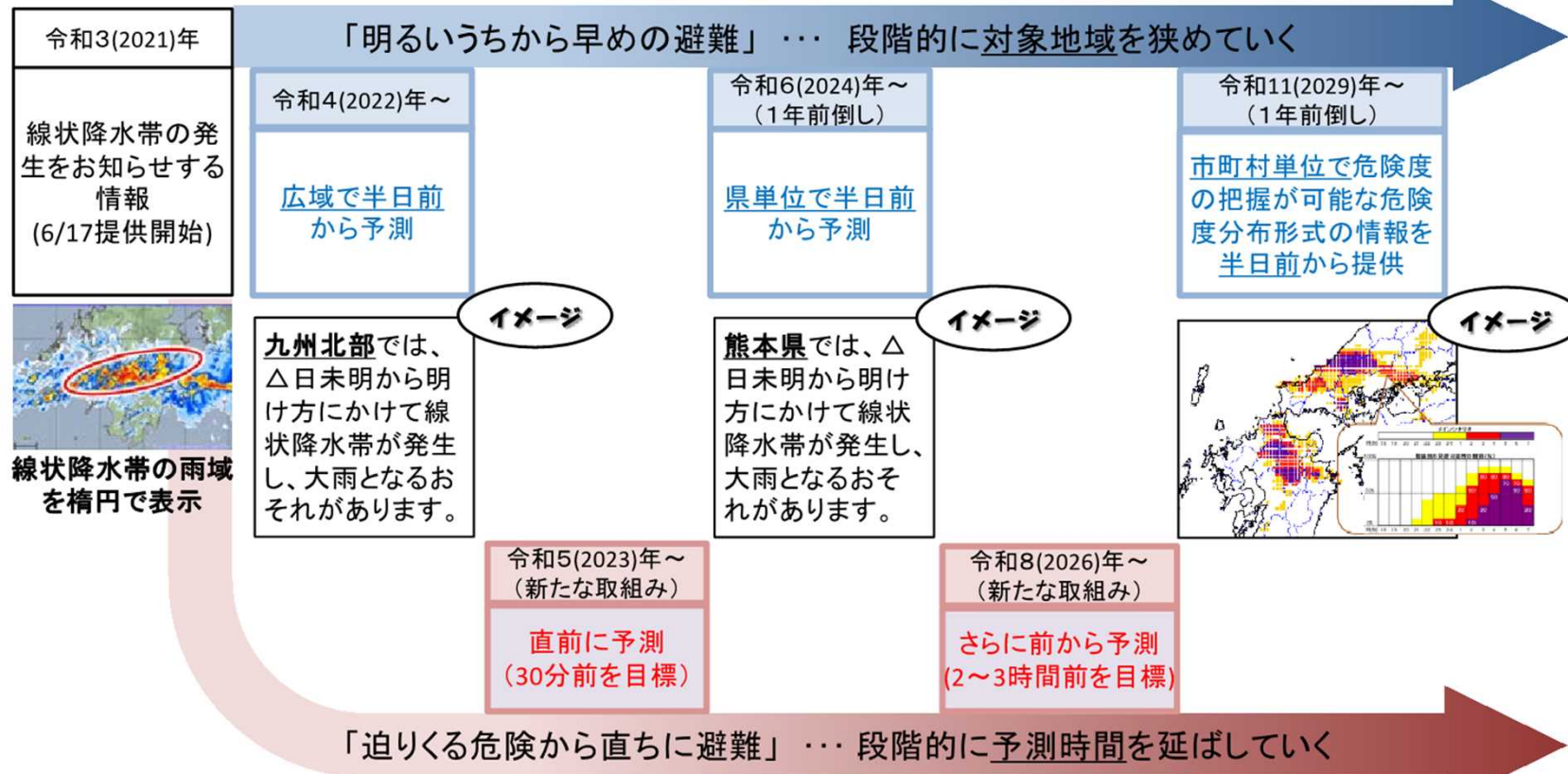
# 線状降水帯の予測精度向上等に向けた取組の強化・加速化

## 情報の改善

## 6月1日より線状降水帯予測を開始

・線状降水帯は、湿った空気の流入が持続することで次々と積乱雲が発生し、線状の降水域が数時間にわたってほぼ同じ場所に停滞することで大雨をもたらすもの。線状降水帯が発生すると災害の危険性が高まるが、現状の観測・予測技術では、正確な予測が困難なため、以下の取組を前倒しで推進する。

- (1) 観測機器を整備し、線状降水帯の予測に必要な水蒸気等のデータを収集。
- (2) 気象庁スーパーコンピュータの能力を向上させるとともに、「富岳」により開発した精緻な予測モデルを活用し、線状降水帯の発生を予測。
- (3) これまで発生後の情報提供にとどまっていたところを、令和4年度より、予測精度向上を踏まえた線状降水帯の発生の予測を開始し、その後、段階的に精度を向上。



※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

# 洪水予報の運用について

# 国が行う洪水予報の運用変更（氾濫危険情報の発表前倒し）について

取扱注意  
構成員限り

## 洪水予報の種類等と発表基準

種類	情報名	発表基準
「洪水警報（発表）」 又は 「洪水警報」	「氾濫発生情報」 又は 「氾濫発生情報（氾濫水の予報）」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 氾濫が発生したとき</li> <li>・ 氾濫が継続しているとき</li> </ul>
	「氾濫危険情報」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 急激な水位上昇によりまもなく氾濫危険水位を超え、さらに水位の上昇が見込まれるとき</li> <li>・ 氾濫危険水位に到達したとき</li> <li>・ 氾濫危険水位を超える状態が継続しているとき</li> </ul>
	「氾濫警戒情報」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 氾濫危険水位に到達すると見込まれるとき</li> <li>・ 避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれるとき</li> <li>・ 氾濫危険情報を発表中に、氾濫危険水位を下回ったとき（避難判断水位を下回った場合を除く）</li> <li>・ 避難判断水位を超える状態が継続しているとき（水位の上昇の可能性がなくなった場合を除く）</li> </ul>
「洪水注意報（発表）」 又は 「洪水注意報」	「氾濫注意情報」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 氾濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれるとき</li> <li>・ 氾濫注意水位以上で、かつ避難判断水位未満の状態が継続しているとき</li> <li>・ 避難判断水位に到達したが、水位の上昇が見込まれないとき</li> </ul>
「洪水注意報（警報解除）」	「氾濫注意情報（警戒情報解除）」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 氾濫危険情報又は氾濫警戒情報を発表中に、避難判断水位を下回った場合（氾濫注意水位を下回った場合を除く）</li> <li>・ 氾濫警戒情報発表中に、水位の上昇が見込まれなくなったとき（氾濫危険水位に達した場合を除く）</li> </ul>
「洪水注意報解除」	「氾濫注意情報解除」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 氾濫発生情報、氾濫危険情報、氾濫警戒情報又は氾濫注意情報を発表中に、氾濫注意水位を下回り、氾濫のおそれがなくなったとき</li> </ul>

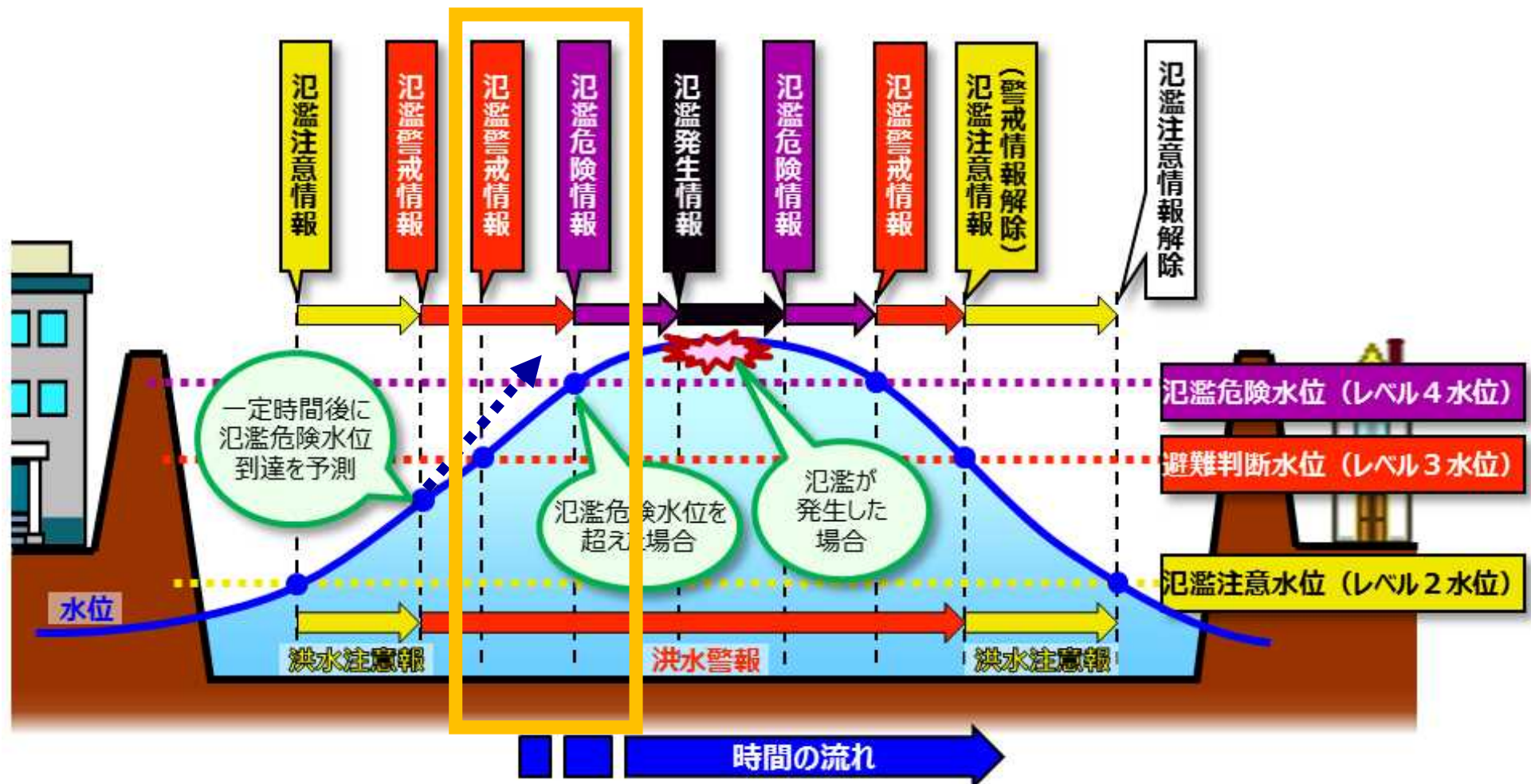


# 国が行う洪水予報の運用変更（氾濫危険情報の発表前倒し）について

取扱注意  
構成員限り

現在

実況水位が氾濫危険水位に到達した場合に、  
氾濫危険情報（警戒レベル4相当；避難指示の目安）を発表



# 国が行う洪水予報の運用変更（氾濫危険情報の発表前倒し）について

## 改善後

取扱注意  
構成員限り

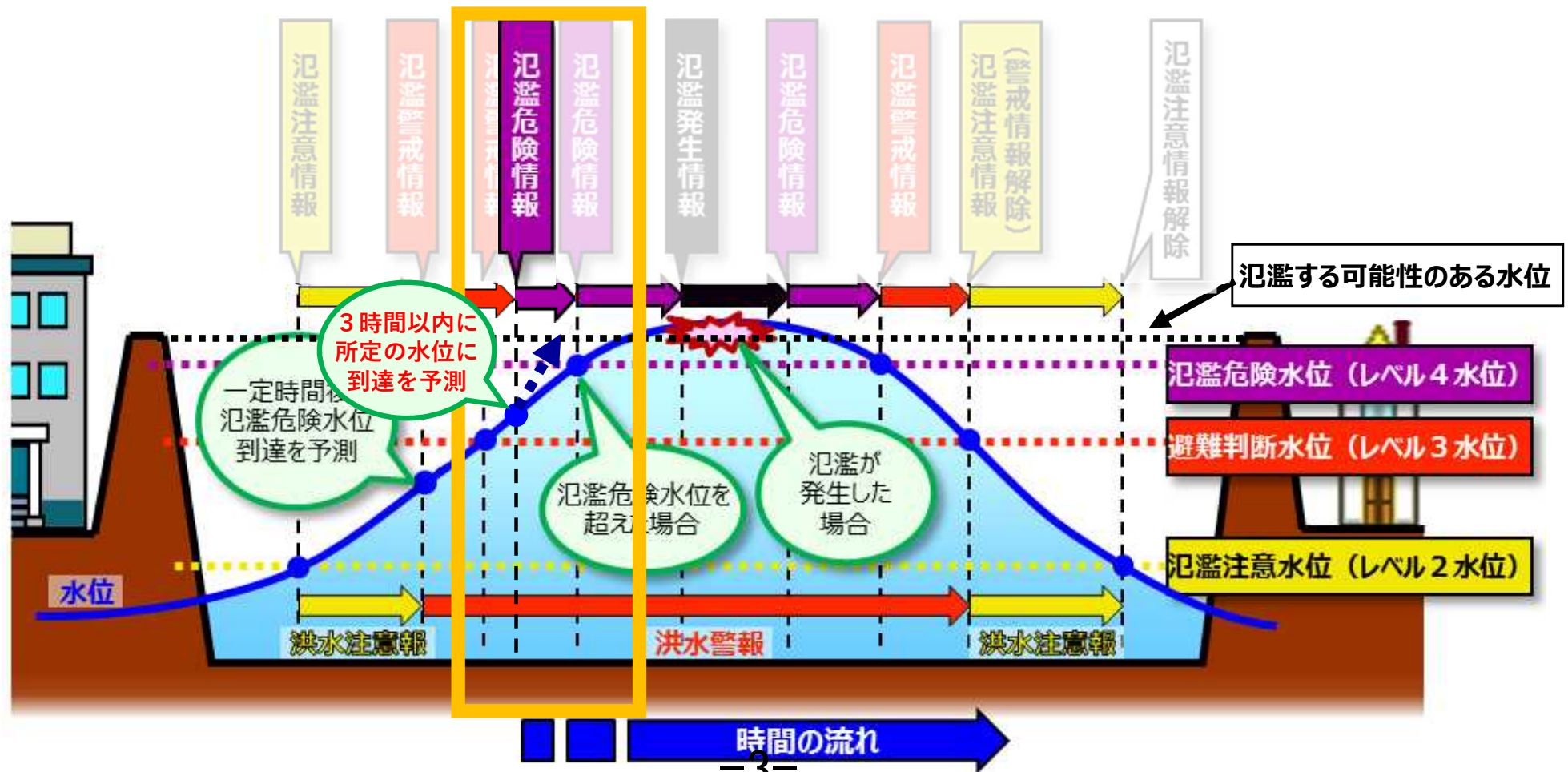
従来の運用に加えて

3時間先までの予測水位が、氾濫する可能性のある水位に到達した場合に、

氾濫危険情報（警戒レベル4相当；避難指示の目安）を発表

これにより、氾濫危険水位の設定時に考慮した条件を上回る急激な水位上昇に対応し、

**これまでの運用より早い段階から警戒を呼びかけることが可能になる。**



# 国が行う洪水予報の運用変更（氾濫危険情報の発表前倒し）について

取扱注意  
構成員限り

予測に基づく氾濫危険情報は、新しい見出し及び主文で発表されます。

## 見出し

【警戒レベル4相当情報 [洪水]】〇〇川では、急激な水位の上昇により、氾濫のおそれあり

## 主文

【警戒レベル4相当】これは、避難指示の発令の目安です。〇〇川の〇〇水位観測所（〇〇市〇〇）では、急激な水位の上昇により、今後、氾濫危険水位を超過する見込みです。〇〇川では堤防決壊等による氾濫のおそれがあり、〇〇市、〇〇市、〇〇町では浸水するおそれがあります。直ちに、市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。

**正規**

ろっかくがわ  
六角川氾濫危険情報

六角川洪水予報第11号  
洪水警報  
令和3年08月14日17時40分

たけあきせんじしよ ながさきましまい  
武雄河川事務所 佐賀地方気象台 共同発表

(見出し)

【警戒レベル4相当情報 [洪水]】ろっかくがわ六角川では、当分の間、氾濫危険水位付近の水位が続く見込み

(主文)

【警戒レベル4相当】これは、避難指示の発令の目安です。ろっかくがわしおみほし六角川の潮見橋水位観測所（たけあし武雄市）では、当分の間、「氾濫危険水位」付近の水位が続く見込みです。ろっかくがわ六角川では堤防決壊等による氾濫のおそれがあり、武雄市、嬉野市、杵島郡大町町、杵島郡江北町、杵島郡白石町では浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。

(雨量)

多いところで1時間に60ミリの雨が降っています。  
この雨は今後次第に弱まるでしょう。

13日17時30分	14日17時30分	14日17時30分	14日20時30分
-----------	-----------	-----------	-----------

```
<Headline>  
<Text>【警戒レベル4相当情報 [洪水]】六角川では、……</Text>  
<Information type="指定河川洪水予報 (予報区域)">  
<Item>  
<Kind>  
<Name>氾濫危険情報</Name>  
<Code>41</Code>  
<Condition>洪水警報</Condition>  
</Kind>
```

```
<Body>  
<Warning type="指定河川洪水予報">  
<Item>  
<Kind>  
<Property>  
<Type>主文</Type>  
<Text>  
【警戒レベル4相当】これは、避難指示の発令の目安です。……  
</Text>  
</Property>
```



## 河川防災情報について(令和3年度)

---

【同時発表：気象庁記者クラブ】

令和3年5月24日  
気象庁 大気海洋部 業務課  
水管理・国土保全局 河川計画課

### 「自らの命は自らが守る」社会の構築に向けて ～防災気象情報の伝え方を改善～

出水期を迎えるにあたり、住民の皆様の適切な避難の判断・行動につながるよう、防災気象情報の伝え方を改善します。

住民の皆様の適切な避難の判断・行動につながるよう、防災気象情報の伝え方を改善するため、有識者で構成される「防災気象情報の伝え方に関する検討会」や「水害・土砂災害に関する防災用語改善検討会」において、課題や改善策を検討いただき、改善策と推進すべき取組がとりまとめられました。

気象庁と水管理・国土保全局では、これらのとりまとめを踏まえ、防災気象情報が、避難をはじめとする防災対策により一層役立つよう、今出水期から別紙「防災気象情報の伝え方改善に向けた取組について」の通り取組を進めていきます。

#### 【主な取組】

- ・「線状降水帯」というキーワードを使った顕著な大雨への注意喚起を開始
- ・台風等が接近した際に、どのような災害が想定されるのか等がより詳細に伝わるよう呼びかけ方を改善
- ・国が管理する河川の洪水予報における水位や流量の予測情報の提供について、従来の3時間先から6時間先までに延長 等

正規

## 千曲川氾濫注意情報

千曲川洪水予報第〇号  
洪水注意報（発表）  
令和〇〇年〇月〇日〇時〇〇分  
千曲川河川事務所・長野地方気象台 共同発表

## 変更箇所 - PDF形式 -

(見出し)

【警戒レベル2相当情報【洪水】】千曲川では、氾濫注意水位に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込み

➤ 国管理河川の（水位）の欄が6時間先までに拡張されます。

(主 文)

【警戒レベル2相当】千曲川の〇〇〇水位観測所（〇〇県〇〇市〇〇）では、〇〇日〇〇時〇〇分頃に、「氾濫注意水位」に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込みです。洪水に関する情報に注意して下さい。

➤ （都道府県管理河川は変更なし）

(雨量)

所により1時間に50ミリの雨が降っています。  
今後もこの雨は降り続く見込みです。

流域	00日00時00分～00日00時00分までの流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分までの流域平均雨量の見込み
千曲川流域	〇〇〇ミリ	〇〇ミリ

観測所名	水位危険度					
	水位(m)	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	
〇〇〇 水位観測所 (〇〇県〇〇市〇〇)	00日00時00分の状況	XXX.X↑	水防団待機	氾濫注意	避難判断	氾濫危険
	00日01時00分の予測	XXX.X				
	00日02時00分の予測	XXX.X				
	00日03時00分の予測	XXX.X				
	00日04時00分の予測	XXX.X				
	00日05時00分の予測	XXX.X				
	00日06時00分の予測	XXX.X				

予測時間が長くなるほど不確実性が高まります。予測水位の値は今後変わることもあるため、今後も最新の発表をご確認ください。  
水位のグラフは各水位間を按分したものです。  
水位危険度レベル4については、氾濫危険水位と計画高水位を按分しており、氾濫危険水位=計画高水位の場合は最大になります。

(水位)

千曲川の水位観測所における水位は次のとおりと見込まれます。

観測所名	水位危険度				
	水位(m)	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
〇〇〇 水位観測所 (〇〇県〇〇市〇〇)	00日00時00分の状況	XXX.X↑			
	00日01時00分の予測	XXX.X			
	00日02時00分の予測	XXX.X			
	00日03時00分の予測	XXX.X			

水位のグラフは各水位間を按分したものです。  
水位危険度レベル4については、氾濫危険水位と計画高水位を按分しており、氾濫危険水位=計画高水位の場合は最大になります。

### 注意

予測時間が長くなるほど不確実性が高まります。  
予測水位の値は今後変わることもあるため、今後も最新の発表をご確認ください。

# 「川の防災情報」での予測水位情報の提供

- 「川の防災情報」ウェブサイトは、今年3月リニューアルし、地図画面のGIS化や地点登録機能などを追加し、情報提供の充実を進めているところ。
- 指定河川洪水予報で発表された6時間先の予測水位についても、「川の防災情報」ウェブサイトにおいて水位グラフで確認が可能。

**イメージ**

2021/05/20 16:38

水位観測所の位置を地図上に表示

指定河川洪水予報が発表された河川に着色

観測所情報  
やっつじま とねがわすいけい とねがわ  
八斗島 利根川水系 利根川

最新観測値 2021/05/20 16:30

河川横断面図 水位グラフ 河川カメラ 詳細情報

水位 (m)

6時間先までの予測水位を水位グラフで表示

上流観測所	水位	下流観測所
水位	氾濫注意水位超過(Lv2相当)	水位
-0.55m →	2.25m	-1.76m →

「川の防災情報」ウェブサイト (<https://www.river.go.jp>)



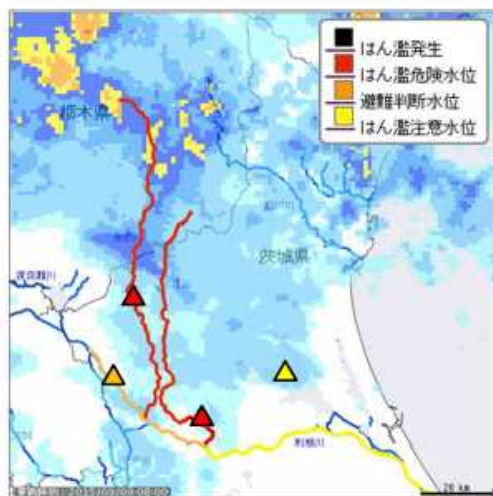


# 水害リスクラインによる水位情報の提供

上流から下流まで連続的に、地先毎の洪水危険度を把握・表示する「水害リスクライン」により、災害の切迫感をわかりやすく伝える取組を推進

## 現行の洪水予報・危険度の表示

水位観測所の水位で代表して、一連区間の危険度を表示



## 水害リスクラインを活用した洪水予報・危険度の表示

左右岸別、上下流連続的に地先ごとの危険度を表示



水害リスクライン

URL : <https://frl.river.go.jp/>



住民自らの行動に結びつく  
水害・土砂災害ハザード・リスク  
情報共有プロジェクト